

まちに広がるエコ活動

CAFE

野菜の力が人とまちを元気に



Caff'e Solare (カフェ ソラーレ)

ほししょう
保昌 純太さん
秀子さん

住 所：東京都豊島区池袋 3-9-2
電話番号：03-3982-5968
営業時間：
ランチ 午前11時30分～午後2時30分
ディナー 予約制（お問合せください）
定 休 日：日、月曜日

うちの料理では野菜たちが生き活きとしているんですよ。野菜本来の味がぎゅっと詰まっていますととってもおいしい！

古くからおつきあいのある生産者の方がいつも最高の状態で食材を届けてくれるので、その芳醇な味わいを最大限に引き出したお料理でお客様を元気づけられたら、私たちも幸せですね。

実際、野菜が苦手なお客様でも「ここの野菜だけは食べられる！」と残さず食べていただいていますし、農薬をほとんど使用していない野菜は、皮やへたもスープのだしに利用できるのです、捨てるところがまったくないんです。自分でも驚くんですが、自宅でお店を始める前と後で、我が家から出るごみの量はあまり変わってないんですよ。

食材や人のつながりをつつひとつ大切に。おいしい料理は、人もまちもきっと元気にしてくれると思います。



千葉県鴨川産の野菜をたっぷり使った日替わりランチ。
(写真はロール・キャベツソラーレ風)

TEACHER

幼少時の「気づき」がエコを生む



つばら や
圓谷 秀雄さん

東京女子体育大学・
短期大学准教授
東京都環境学習リーダー
前東京学芸大学附属
竹早小学校理科専科

長年、小学校で理科教育に携わってきましたが、学校の授業以外でも、自由な形で、子どもたちに自分の周りである環境や科学は楽しいんだということに気づいてほしいと思っていました。そこで今は、大学の授業をするかたわら、子どもを対象とした環境講座をやっています。

例えば、太陽電池を使ったおもちゃづくりの講座では、子どもたちは遊びながら、自然エネルギーについて体感することができます。太陽電池は日光が当たれば発電でき、電源がない場所でも使用できるという特性があります。実際に太陽電池で動くおもちゃを目の当たりにした子どもたちの感動は、必ず心に残っていることでしょう。

こうした経験を重ねて科学に関心を持ち、エコにも役立ち、より快適になる生活スタイルや知恵を提案できるような大人になってほしいと期待しています。



子ども環境講座で作成したソーラーカモメ。背の太陽電池に日光を当てるとはばたく。

サンシャイン シティは CO₂排出量削減に 積極的に取り組んでいます。

環境にやさしい街づくりを目指し、環境省の助成を受け、サンシャイン60ビルの外壁窓に高反射フィルムを設置いたしました。これにより、夏季の室内における空調負荷低減を図り、CO₂排出量削減を実現していきます。



日射量
測定器

Sunshine City
総合案内 ☎03(3989)3331



みなさんからの情報をお待ちしています

次回「エコのわ」第6号のテーマは「生物多様性」です。このテーマに関するご質問やご意見、また生き物観察のような自然とふれあう子どもたちの活動事例などの情報を募集します。住所、氏名、電話番号を明記の上、はがき、メール、FAX いずれかで環境政策課までお寄せください。(3月末日締切り)

今号も「エコのわ」製作にご協力いただきました

日本ジャーナリスト専門学校と協定を結び、編集者養成科学科長の澤野久美子先生の指導の下、学生の皆さんに企画・取材・執筆・編集に協力いただきました。

【今回参画していただいた皆さん】

小黒さやかさん、菊池美沙さん、齋木香奈美さん、齋藤志乃さん、吉富有希さん